

はぐくむ

伸びよう 伸ばそう ひむかの青少年

令和2年12月発行 70号



「青少年の主張宮崎県大会」は、次代を担う青少年の皆さんに、日常生活の中で考えていることや感じていることを表現していただくことをねらいの一つとして、毎年開催しています。しかし、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会を開催することができませんでした。そのため、応募のあった作文による審査を行い、入賞者を選定しました。なお、各都道府県で実施されている青少年の主張大会は「少年の主張全国大会」につながっており、本県からも少年の部の最優秀賞受賞者が、例年、全国大会での表彰式に参加しておりますが、今年は、コロナ禍の中で、発表者の動画配信によるWeb開催となりました。来年度は、ぜひ開催できることを願っています。中学生、高校生の皆さん多くの主張作文の応募を期待しています。

今年の作文応募総数は、少年の部(中学生)689点、青年の部(高校生)130点で、作文審査の結果、14名の皆さんのが入賞しました。入賞した作文は、自分の日ごろの思いや考え方、将来の夢や希望、メディアに関するなど幅広い内容で、みずみずしい感性で描かれています。特に、今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休校が続く中で、これらの生き方を考える機会にしたという内容の作文も見られました。

「青少年の主張宮崎県作文審査」受賞者

賞	氏名	学 校 名	学年	発 表 テーマ
少年の部	最優秀賞 石川 陽葵	県立宮崎西高校附属中学校	3	いまをどんな心で生きるか
	優秀賞 徳地 紅緒	都城市立高城中学校	2	言葉の壁の向こう側へ
	優秀賞 土本 香凜	延岡市立旭中学校	2	歌の力を信じて
	優良賞 森 山咲	宮崎市立生目台中学校	3	行動のあとに学ぶもの
	優良賞 飯田 美咲	宮崎市立宮崎西中学校	3	人とのつながり
	優良賞 井野 花音	宮崎市立赤江中学校	2	誹謗中傷
	優良賞 渡辺 麻由奈	国富町立木脇中学校	3	個性輝く時代へ
	優良賞 野村 美理亜	綾町立綾中学校	3	私たちに改めて教えてくれたこと
	優良賞 押方 歌多	高千穂町立高千穂中学校	3	正しい選択が未来を創る
	優良賞 松元 優花	県立都城泉ヶ丘高校附属中学校	3	最近の若い人は
青年の部	最優秀賞 長田 小春	県立宮崎農業高等学校	3	ブーゲンビリアに魅せられて～宮崎の花への想い～
	優秀賞 吉永 己倫	県立日南高等学校	1	私の夢
	優良賞 瀬口詠理	県立宮崎農業高等学校	3	伝えたい～農業高校で学んだこと～
	優良賞 今井 総二郎	県立児湯るびなす支援学校	3	好きな時に 好きな所へ

「はぐくむ」は宮崎県青少年育成県民会議の広報紙です。

〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号 県庁福祉保健部こども家庭課内

【電話】0985-26-7041 【FAX】0985-26-3416 【Eメール】miyazaki-sik@ab.auone-net.jp



令和2年度「青少年の主張宮崎県大会」作文審査による少年の部(中学生)及び青年の部(高校生)の最優秀賞受賞作文を紹介します。中学生の石川陽葵さん、高校生の長田小春さん、お二人とも、それぞれの体験から学んだことや考えたことをもとに、これから自分の人生を切り開いていこうという意欲が伝わってくる内容の作文です。

紙面の都合で、ここに載せることができなかった他の作文も中高生の思いや考えがひしひしと伝わってくるものばかりでした。



【少年の部】最優秀賞

いまをどんな心で生きるか

宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 3年 石川 陽葵

立志式を迎えたすぐ後のことです。新型コロナウイルス流行のため、学校が休校となり、家の中で何週間も過ごさなければならなくなりました。今まで「当たり前」に営んでいた生活ができなくなり、隔離された孤独の時間の中、経験した事のないような不安を感じる日々でした。

しかし、この動けない状態は自らを見つめ直す機会だと前向きにとらえ、これから自分がどのような使命を持って生きて行くべきなのかを考えるように心がけました。自分探しは大変難しく、答えを出せないまま悩む日が続きました。

そんな私の自分探しの旅に大きな変化が訪れたのは、ある日、母が書いてくれた手紙を読み返した時でした。それは、修学旅行に出発する日に母から受け取ったものです。

「修学旅行へ行けることが、当たり前のことだと思ってはいけない。14歳の私の分までたくさん学んでくること。」

私の母は、14歳のとき白血病にかかり、長い期間、入院生活を強いられました。

「もう1日命を頂いてありがとう。」

毎朝目が覚めた時に感謝するようになってから、その感謝の気持ちが苦しみを乗り越える勇気に変わっていったそうです。

私がこうして元気に成長していること、何の苦労もなく毎日過ごしている今がどれだけありがたいことなのか、本当に「当たり前」のことは、当たり前でないと身にしみて感じました。食事が満足にできること、必要な教科書を持って登校できること、体調を崩せばすぐに病院で治療を受けられること、そして、夢や希望を自由に持つことができること。今までの自分を振り返ると、どれだけの人に支えられてきたのだろうと、全ての思い出に対して感謝の気持ちでいっぱいになりました。

自分がどれだけ恵まれている中で生きてこられたかを実感した私は、感謝とともに「恩返しをしたい」、そう強く思うようになりました。世の中には自分や家族のことで悩んでいる人、世界に目を向ければ、戦火の過酷な状況の中で必死に生きている人がいます。私はいろいろな苦しみや悩みを抱えている人達に寄り添い、笑顔を取り戻す為の力添えを行える人間になろうと決心しました。そして、自分の信念を貫き続けるために「一意専心」という言葉を胸に刻んで生きていきたいと思いました。この言葉には、自らの考えに基づいて、一つのことに力を注いでいくという意味があります。

社会に目を向けると乗り越えていけるか不安なことがあります。コロナウイルスに我々はどう対峙していくべきいいのか、近い将来、A の普及によって、これまでとは全く違う世界でどうやって生きていくかなどです。

「未来の不安の中に生きてはいけない。今頑張ることに集中すれば、新たな道が開けてくるよ。」

これは、5年間にわたる闘病生活を乗り越えて、白血病を克服した母が、ずっと私に言い聞かせてきた言葉です。

どんな境遇にあるとしても、それにめげることなく、未来に不安を感じず、自分の信じる道を歩み続けていこうと思っています。

私はこれまで、家族・先生・地域の方々、たくさんの人に守られながら、安心感を持って歩いてくることができました。それが当たり前ではないことを決して忘れず、志を胸に自分の人生を切り拓いていきます。



【青年の部】最優秀賞

「ブーゲンビリアに魅せられて～宮崎の花への想い～」

宮崎県立宮崎農業高等学校 3年 長田 小春

「おばあちゃん、あの花な～に？」 祖母の暖かい腕の中で空を見上げながら聞く私。

我が家家のベランダを埋め尽くす色鮮やかな植物は、とても華やかなマゼンタ色をしており、その光景は幼い頃から私の胸に根付いていました。「あの花な～に？」カタカナで少し長い名前をしたその植物の名前を祖母は何度も丁寧に教えてくれました。「小春、この花はね。ブーゲンビリアと言うんだよ。」

私のお気に入りの花。それは宮崎空港の愛称「ブーゲンビリア」です。祖母は6年前に他界してしまったが、今でも毎年ブーゲンビリアは我が家を彩っています。宮崎農業高校に入学し草花流通専攻班の一員となった私は、今そのブーゲンビリアの虜になっています。

みなさんは、宮崎の花と言えば何を思い浮かべますか。出荷量の多いスイートピーでしょうか。秋の日南海岸を赤く染めるポインセチアでしょうか。西都原古墳群の春を彩る菜の花でしょうか。この他にも高鍋町のキャベツ畑を利用したヒマワリなどがあります。このように、宮崎には花の名所がたくさんあります。しかし、宮崎の玄関を彩るブーゲンビリアを宮崎の花として挙げる人は少ないと思います。これまで、私達草花流通専攻班ではシクラメンやポインセチアを地域の方々や小学校・役場などに提供し好評を得ています。そこで、次は「ブーゲンビリアを地域に根ざした花」にしたいと考えています。ところで、地域に根ざした花づくりとは何でしょうか。どのようにすればできるのでしょうか。そこで、私は一つの計画をたてました。一つ目は、販売実習や朝市で草花を販売するだけでなく、知ってもらえるように紹介することです。直接、消費者の方と会話を交わすことができる場所において、生産者の思いは一層伝えやすくなります。そこでダイレクトマーケティングを行うことで地域の消費者に関心をもってもらいたいと考えています。もう一つの計画は、今後、ブーゲンビリアを宮崎の花としてPRするために実際に地域の活動を体験し、どのようなPR方法があるのかを研究して、ブーゲンビリアのPR方法のバリエーションを増やしたいと考えています。ブーゲンビリアの見頃は5月～10月です。夏はブーゲンビリア、秋にはポインセチアにシクラメン。私達、宮崎農業高校生の栽培する草花が一年中、地域を彩る日が近付いています。これまでも、地域からの要望で各種イベントにおいてパンジーやベゴニアの寄せ植え体験コーナーを実施してきたように、私達には地域に出ていくチャンスがたくさんあります。今後は、内容をブーゲンビリアの寄せ植えにすることで、地域にブーゲンビリアを広げていくことを目標としています。ブーゲンビリアを地域に根ざした花にする事を目標にした私には、一つの願いがあります。ブーゲンビリアの品種には、数多くの品種があり、私達が栽培している品種はフェアリーですが、宮崎の玄関である空港で栽培されている品種にエリザベスアンガスというものがあります。この空港で栽培されているエリザベスアンガスの突然変異が5年前に発見され、宮崎を代表する偉人である岩切章太郎氏にちなんで「エリザベスアンガス章太郎」と命名されました。私は、この宮崎の玄関を彩る「エリザベスアンガス章太郎」を広めたいと考えています。

優しく暖かい太陽の日射し、一面に広がる透き通るような青い空、そして花で彩られた自然豊かな大地。これが私のもつ宮崎のイメージです。私は、これまで多くの花の名所に足を運んでは景色を眺め「この景色をもっと沢山の人に知ってほしい」と思っていました。空港だけでなく、地域全体がブーゲンビリアで人々を受け入れができる日を夢見ています。ブーゲンビリアの花言葉は「情熱」と「魅力」です。農業高校の仲間と共に情熱を燃やし魅力ある活動に取り組んでいきます。



「家庭の日」「少年の日」ポスターコンクール

最優秀賞受賞作品紹介

日南市立飫肥小学校 6年

瀬戸山 璃音さん

テーマ「育てよう家族の絆」



宮崎県立佐土原高等学校 2年

どうぞの 堂園 和心さん

テーマ「対決だ！」

「家庭の日」「少年の日」ポスターコンクール入賞者

	賞	氏名	学校名	学年		賞	氏名	学校名	学年
家庭の日	最優秀賞	瀬戸山 璃音	日南市立飫肥小学校	6	家庭の日	優良賞	鶴岡 颯太	日南市立南郷中学校	1
	優秀賞	畑田 侑愛	宮崎市立大淀小学校	3		長友 琴音	宮崎市立加納中学校	2	
		江口 実來	宮崎市立住吉中学校	2		押川 愛茉	日向市立大王谷中学校	3	
		長井 月渚	県立佐土原高等学校	1		鈴木 綾乃	宮崎大学教育学部附属中学校	3	
	優良賞	荒井 礼治	宮崎市立宮崎小学校	1		鬼束日向未	県立佐土原高等学校	1	
		甲斐 優衣菜	三股町立三股西小学校	1		最優秀賞	堂園 和心	県立佐土原高等学校	2
		甲斐 海璃	宮崎市立田野小学校	2		優秀賞	川添 璃子	日南市立飫肥小学校	6
		田部 眞子	国富町立本庄小学校	2		中武 美空	国富町立本庄中学校	2	
		田中美妃	宮崎市立広瀬北小学校	3		津曲 結衣	都城市立祝吉中学校	2	
		緒方 陽春	国富町立本庄小学校	4	少年の日	山口 凌空	延岡市立土々呂小学校	1	
	優良賞	田部 太陽	国富町立本庄小学校	4		田中佑樹	宮崎市立広瀬北小学校	6	
		松田 恋奈	宮崎市立大淀小学校	5		下川 希唯	都城市立西中学校	1	
		恵利つぼみ	宮崎市立生目台西小学校	5		山内 ななみ	宮崎大学教育学部附属中学校	1	
		秋山 涙羅	日南市立酒谷小学校	6		堀口凜天	県立佐土原高等学校	1	
		高橋 ひかり	宮崎市立加納中学校	1		仮屋里菜	県立佐土原高等学校	1	

「家庭の日」「少年の日」ポスターコンクール

優秀賞受賞作品

宮崎市立住吉中学校 2年
江口実來さん

宮崎市立大淀小学校 3年
朝田侑愛さん



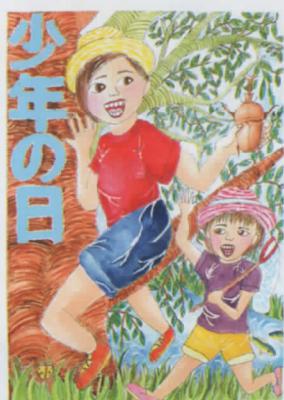
日南市立鈴肥小学校 6年
川添璃子さん



宮崎県立佐土原高等学校 1年
長井月渚さん



国富町立本庄中学校 2年
中武美空さん



都城市立祝吉中学校 2年
津曲結衣さん



少年の日

「家庭の日」・「少年の日」ポスターコンクール入賞作品展示



県庁本館 1階



宮崎銀行宮崎支店



宮崎銀行本店



イオンモール宮崎

「家庭の日」・「少年の日」ポスター
コンクール入賞作品の展示を実施し
ました。

入賞作品については、宮崎県青少年
育成県民会議のホームページにも
掲載していますので、ご覧ください。

宮崎県青少年育成県民会議

検索

宮崎県メディア安全指導員養成講座の取組



木城町立木城中学校での全校生徒と
職員を対象とした講演

県立延岡星雲高等学校での1・2年生と
職員を対象とした講演

宮崎県青少年育成県民会議では、乳幼児や成長期の青少年に与えるメディアの影響、そしてその対処法などを啓発する「宮崎県メディア安全指導員」を県内全域に派遣しています。

子どものメディア（テレビ・スマホ・ゲーム機・インターネット等）との接触の現状や問題点、具体的な対応策などを、各小・中・高・特別支援学校での授業や学校保健委員会、幼・保・学校の参観日やPTA家庭教育学級、公民館や行政機関の研修等で講話や講演を行います。詳しくは、宮崎県庁または宮崎県青少年育成県民会議のホームページから「メディア安全指導員」と検索するか、右側のQRコードからアクセスしてください。



「青少年の主張宮崎県大会」～作文募集～

1 募集対象・期間

中・高・特別支援学校の生徒を対象に主張作文の募集を5月～6月に行います。

詳細は各学校の先生にお尋ねください。

ふるってご応募ください！！

少年の部(中学生)の最優秀賞・優秀賞受賞者は、全国大会（東京都）に派遣（発表または参加）されます。

2 開催日時 令和3年8月3日（火） 13:00～

3 開催場所 宮崎市民プラザ・オルブライトホール



「家庭の日」「少年の日」ポスターコンクール作品募集

1 募集時期 令和3年 夏休み明けの9月（募集案内は6月）

2 募集対象 小・中・高・特別支援学校の児童生徒

※ 入賞者には図書カード、応募者全員に参加賞を進呈

※ 詳細は各学校の先生にお尋ねください。

